

第32回 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

職人に聞く・学ぶ注染 & 染め体験

日時 2021年12月11日(土) 午後2時～午後4時

会場 堺市博物館ホール・学習室

講師 堺注染和晒興業会
北山雅啓 理事長 (日本伝統工芸士) ほか

要申込
定員30名
(小学生以上、先着順)



ご来館の際のご注意

- ・発熱(37.5度以上)や咳・咽頭痛などの症状、だるさ、息苦しさなど体調に不安のある方のご入館はご遠慮ください。
- ・必ずマスクあるいは、ハンカチなど口を覆うものを着用してください。着用していない方はご入館をご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予告なく会期や事業などを変更することがあります。詳しくは、当館ホームページにてご確認ください。

堺市博物館
SAKAI CITY MUSEUM

主催：堺市

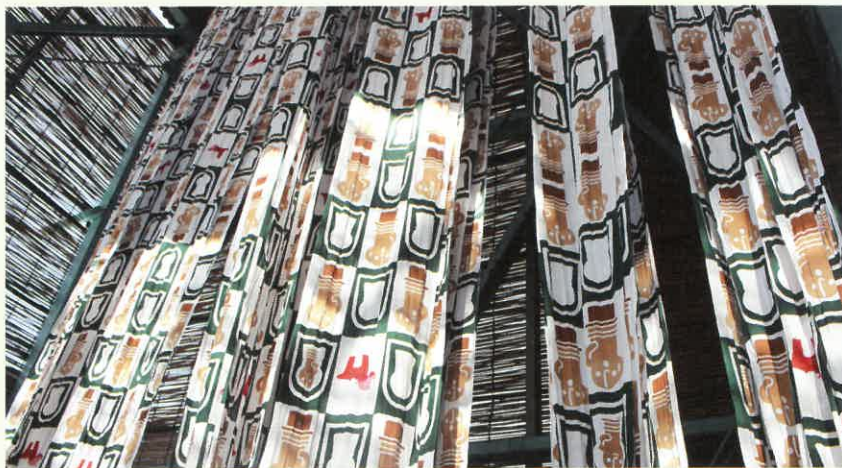
世界遺産 World Heritage Site of Osaka
百舌鳥・古市古墳群
Mozu-Furuichi Kofun Group

堺市博物館内に開設されているアジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）〔ユネスコが賛助するカテゴリー2センターで、独立行政法人国立文化財機構の一組織〕が開設10周年に当たる今年は、地元堺の無形文化遺産の現状、その保存や継承について理解を深める無形文化遺産理解セミナー、ワークショップを開催しています。今回は堺の伝統産業である注染を紹介するセミナー・ワークショップを開催します。

注染とは

注染とは注ぎ染めの技法の一種で、手作業でありながら多彩な柄、小紋など微妙なタッチや独特の色合いを出すことができる堺の伝統産業の一つです。和晒生地に乗せた型紙の上から防染糊を塗り、模様に合わせて土手を引き、その囲の中に染料を注ぎ込みます。表裏を同時に染色するので、生地糸までしっかり色が付き、両面に同じ柄・色合いで出ます。注染職人の匠の技術による鮮やかな彩りと自然なぼかしが特徴で、手染ならではの奥行きと風合いが醸し出されています。

※「浪華本染め(注染)」は2019年に国の伝統的工芸品に指定されました。



ダテ干し

今回のセミナー・ワークショップでは、職人に注染の歴史や工芸などについてお話をいただき、絞り染めの染色法で、オリジナルの手拭いを染める体験をします。作品はお持ち帰りできます。



(写真はイメージです。)

注染の工程



糊置き



土手引き



注ぎ染め

《定員・お申し込み受付》

定員：30名（小学生以上、小学生は必ず保護者同伴）
参加費：1,500円（材料費）（展示の観覧は別途観覧料が必要）
 お申し込みは電話のみ TEL.072 (245) 6201

11月17日（水）午前10時00分から受付。先着順。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止する可能性があります。

- 開館時間 午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）
 - 休館日 月曜日
 - 観覧料 一般200円（160円）／高校・大学生100円（70円）／小・中学生50円（30円）
- ※（ ）内は20名以上の団体料金（要事前予約） ※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）
 ※堺市内在住・在学の小・中学生は無料

堺市博物館

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
 TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263
<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>
 フェイスブックにも堺市博物館の情報満載
<https://www.facebook.com/sakaishihaku/>



堺市博物館公式キャラクター
 ザカイタケルくん
 ©YABUCHI Satoshi



◆交通案内

- 電車** JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m
- バス** 南海高野線「堺東」駅から南海バス（140系統で約10分）、バス停「堺市博物館前」下車約280m
- 駐車場** 大仙公園第3駐車場（仁徳天皇陵古墳東南・有料）